

はじめに

今日の市民福祉を取り巻く環境は、少子超高齢社会の到来、家庭及び地域機能の低下など急激に変化しており、さらに、経済情勢の変化と雇用の不安定化などの問題も深刻なものとなっています。



こういった状況の変化に伴い生じている市民福祉の諸課題に対応するため、“こうべ”の市民福祉総合計画2015を策定いたしました。

神戸市では、これまでも、市民が自主的に行う地域福祉活動、事業者やNPO法人などによる支え合い活動などが先進的に行われてきました。また、地域における拠点である地域福祉センターや分野ごとの福祉の相談窓口も整備されています。本計画では、こういった神戸の「強み」を結集し、市民福祉の課題を克服していこうとしています。

今後、すべての市民が、地域において安心して安全な生活を送ることができるよう、市民・事業者・行政の協働と参画のもと、「人がつながる、安心・支え合いの市民福祉」を目指し、計画の推進に努めてまいります。

市民の皆様におかれましても、一人ひとりが福祉サービスの受け手であると同時に担い手でもあるという気持ちをもって、ともに支え合う地域福祉の推進に取り組んでいただきますようお願いいたします。

平成23年3月

神戸市長

矢田 立郎